

おおむね70才以上の方 を対象とした地域しごと に関するアンケート調査 報告書

2025年2月

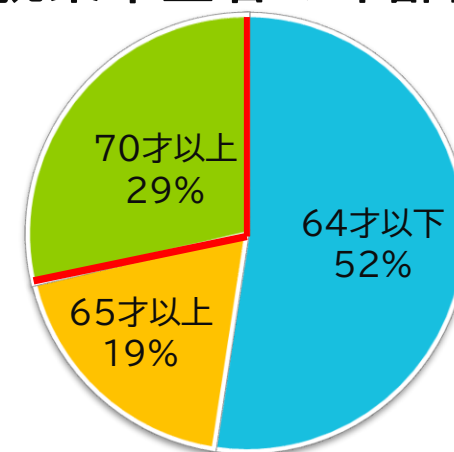
認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸（CS神戸）
兵庫県「地域しごとサポートセンター神戸」補助事業の一環として実施



1. 背景及び目的

- 当法人が兵庫県の補助事業の一環で開設している「地域しごとサポートセンター神戸(愛称:ワラビー)」では地域課題の解決を目的としたコミュニティビジネス領域における起業支援および就業支援を行っている。
- 就業支援については、厚労省認可の無料職業紹介所として、福祉領域や地元企業の求人、高齢者や子育て中の人も応募しやすい短時間勤務での求人等を積極的に取り扱っている。
- 2022年4月から2024年9月末までの2年6か月の求職者の登録データを見ると、全相談者758名のうち、65才以上の高齢者が346名(約5割)となっており、とりわけ70才以上が220名(約3割)となるなど、求職者の高年齢化が顕著となってきている。
- それら70才以上の求職者220名のうち、採用に至った人数は35名であり、全体の15.9%にとどまった。
- その理由として、選考基準として年齢が障壁となり、暗黙裡に職種が限定されている等が推測される。
- 現在企業において、65才までの雇用確保が義務となり、70才までは努力義務となっているが、現実的には70才を超えても、就業意欲のある人が多い。
- 人生100年時代が到来しつつある今、仕事を通じたQOL(生活の質)の向上や健康寿命の延伸への期待など、働くことに関する機会創出の意義は大きい。
- 70才以上を対象とした仕事に関する先行研究事例が確認できなかったため、まずは登録者を中心に意識調査することになった。これは、年齢に関連する就労の研究は通常60才や65才までが対象であり、それ以上の年齢層に関する具体的なデータや分析がほとんど存在しないためである。
- 今回、70才以上の高齢者を対象に「働く目的」や「希望条件」等を明らかにすることで、仕事領域の開拓やチームジョブなどの働き方の開発参考にもすべく、本調査を実施するに至った。

就業希望者の年齢割合



2. 調査概要①

1)目的

おおむね70才以上の人働く場を広げることを目的とした調査として、働くことへの意識や、働く条件をどのように考えているのかアンケート調査した。

2)実施期間

2024年6月14日～7月19日

3)対象

神戸市内のおおむね70才以上の人のうち、コミュニティ・サポートセンター神戸(以下CS神戸)の就業希望登録者およびCS神戸の各拠点のセミナー・サロン等の利用者

4)手法

CS神戸の4拠点における就業希望者、講座参加者やスペース利用者への呼びかけ及びメールニュースにて協力を依頼し、Google フォームにて回答・集約

5)調査項目

①基本情報(居住区・年代・性別)

②仕事をする条件(理由・報酬額・日数・時間・希望する職種・避けたい職種)

以上の調査項目から、CS神戸に関わる70才以上の人仕事の意識や考え方を報告書にまとめた。

2. 調査概要②

6) 回答数と属性 有効回答数:157

①性別

性別	回答数	比率
男性	102	65.0%
女性	54	34.4%
回答しない	1	0.6%
合計	157	

②年代

年代	回答数	比率
70才未満	21	13.4%
70～72才	45	28.7%
73～75才	45	28.7%
76～78才	20	12.7%
79～81才	14	8.9%
82才以上	11	7.0%
未記入	1	0.6%
合計	157	

③居住区

年代	回答数	比率
東灘区	74	47.1%
灘区	31	19.7%
中央区	8	5.1%
兵庫区	1	0.6%
北区	3	1.9%
長田区	2	1.3%
須磨区	4	2.5%
垂水区	11	7.0%
西区	11	7.0%
神戸市以外	12	7.6%
合計	157	

7) 実施体制

実施主体:認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸

協力:一般社団法人定年後研究所 所長 池口武志 氏

※兵庫県「地域しごとサポートセンター神戸」補助事業の一環として実施

3. 調査結果①

1) 仕事を探しているかどうか

	回答数	割合
現在、仕事をしているが、今の仕事以外にも仕事を探している、あるいは機会があればしたいと思っている	35	22.3%
現在、仕事をしておらず、仕事を探している、あるいは機会があればしたいと思っている。	33	21.0%
現在、仕事をしており、仕事をさがしていない	44	28.0%
現在、仕事をしておらず、仕事を探す予定はない	45	28.7%
合計	157	

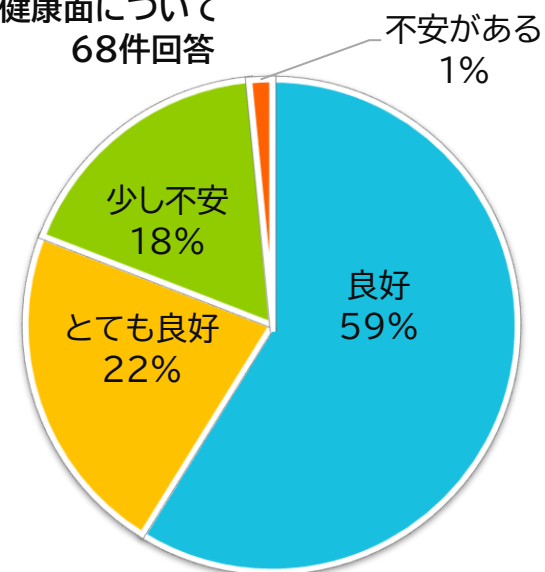
仕事をかけもちしたい人も含めて、仕事探している人は4割であった。現在、仕事をしている人が3割とすると、全体で合わせて7割の人が仕事に携わるか関わりを持とうとしている。

以降の質問には、今回は特に仕事を探している人のみが回答。

2) 仕事をする上での健康面

仕事をする上での健康面は、8割が良好と回答。

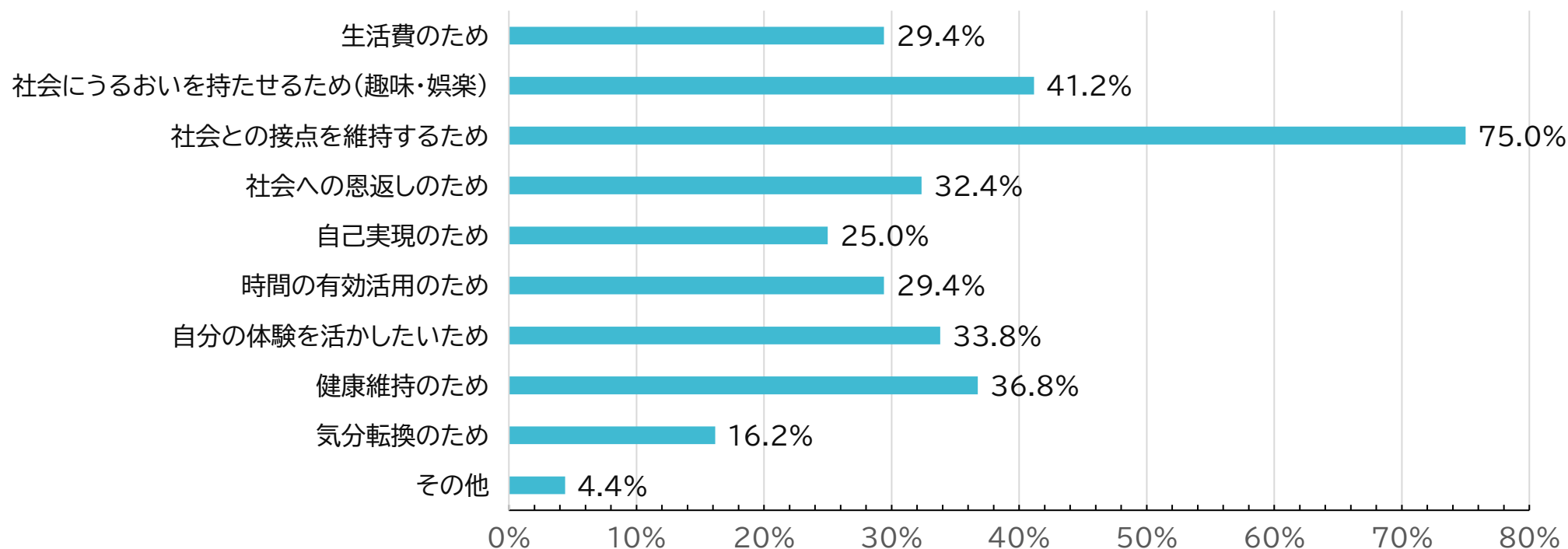
仕事をしていく上で健康面について
おたずねします。 68件回答



3. 調査結果②

3) 仕事をする理由（複数回答）

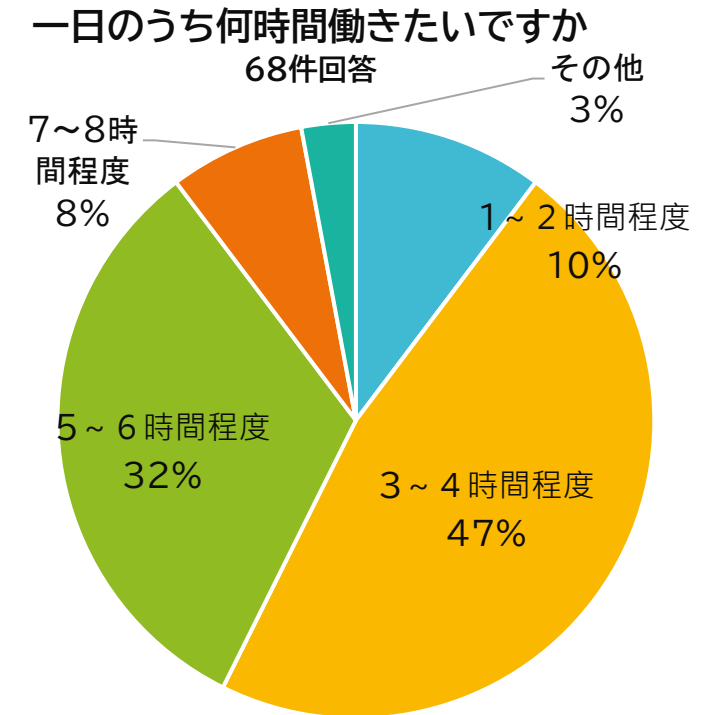
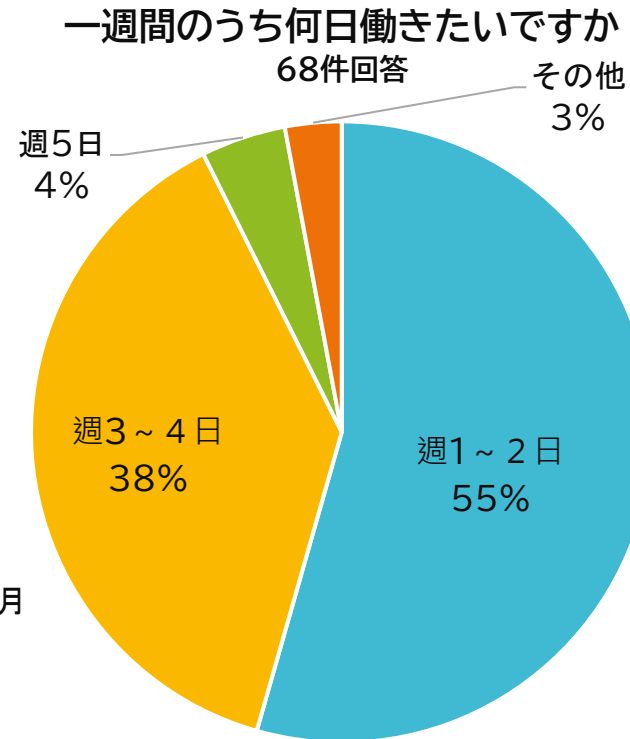
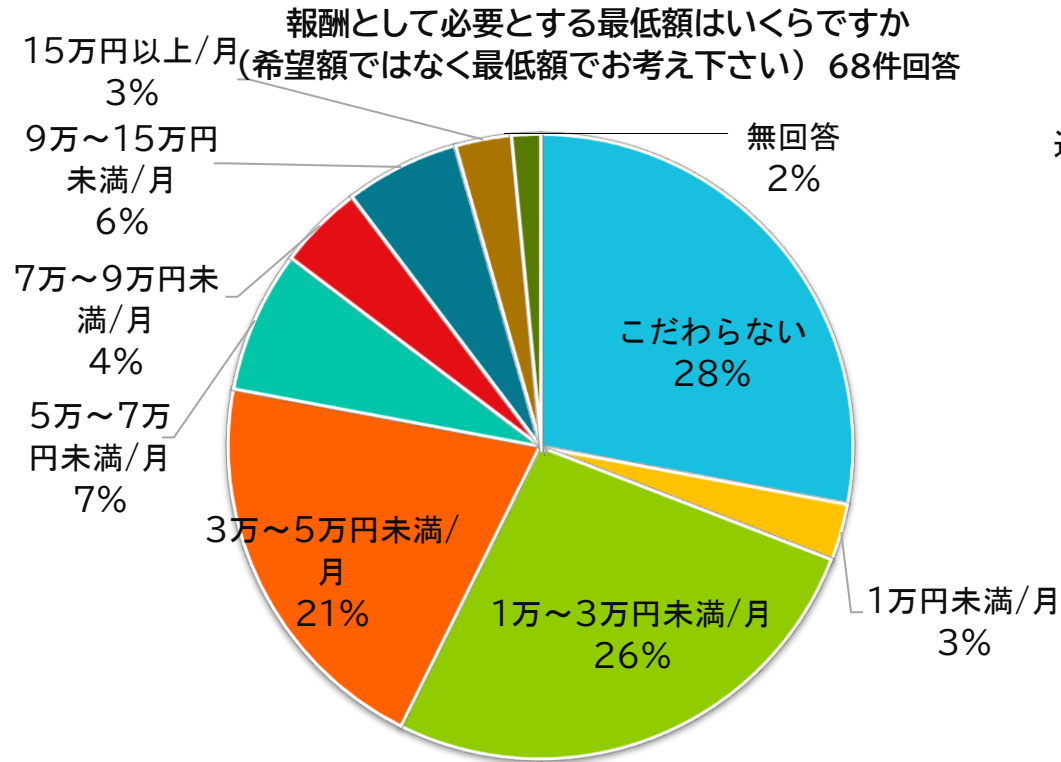
仕事をする理由は何ですか 68件の回答



・「社会との接点を維持するため」が7割以上と他を引き離して1位であった。つづいて、「生活にうるおいを持たせるため」が4割以上、「健康維持のため」、「自分の経験を活かしたいため」、「社会への恩返しのため」の回答が3割以上であった。「生活費のため」、「時間の有効活用のため」、「自己実現のため」は2割以上でそれに次ぐものであった。また、「気分転換のため」は1割以上であった。仕事をする理由には、多面的な要素が重なりあっている。

3. 調査結果③

4) 報酬として必要とする最低額と働きたい日数、時間



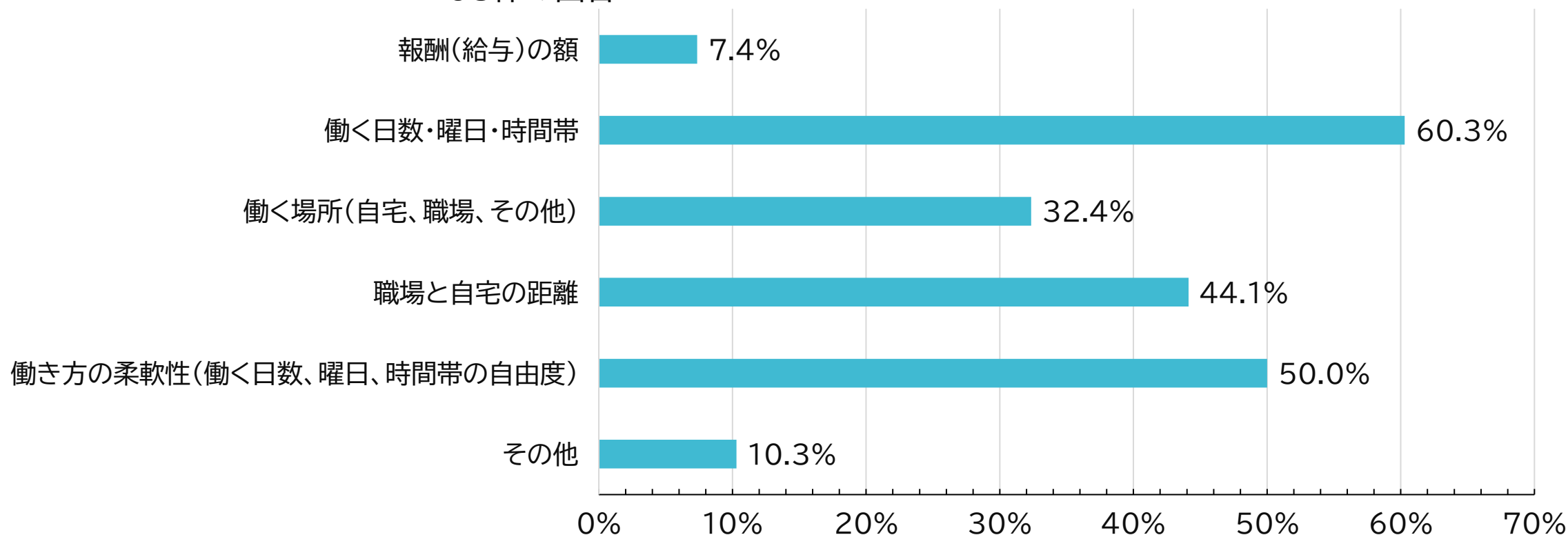
- ・報酬として必要とする最低額は、「こだわらない」、「1万～3万円」、「3万～5万円」がそれぞれ2割以上であった。
- ・働きたい日数は、「週1～2日」が5割を超え、続いて「週3～4日」が3割であった。
- ・働く時間は、1日のうち「3～4時間」が4割以上と多く、続いて「5～6時間」が3割であった。
- ・フルタイムでしっかり稼ぎたい人は極めて少数派だった。報酬よりも勤務日数・勤務時間を重視する傾向にある。

3. 調査結果④

5) 仕事を決める場合に重視している条件（複数回答）

仕事を決める場合に重視している条件は何ですか。最大2つまで選んでください。

68件の回答

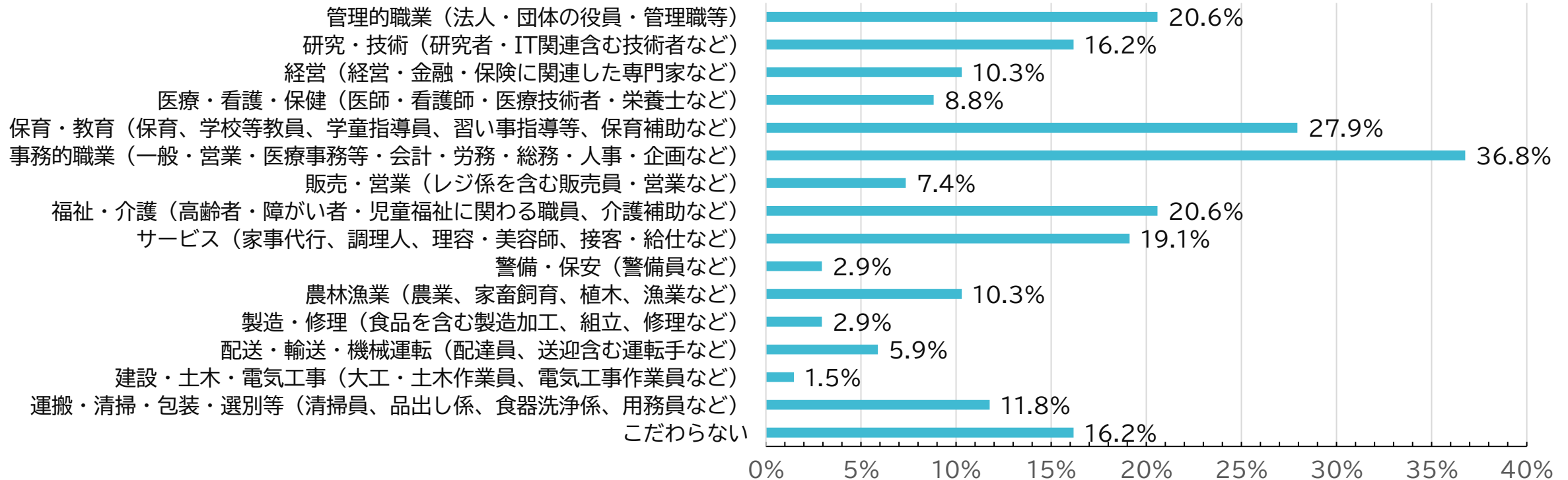


- ・「働く日数・曜日・時間帯」が6割と最も多く、次いで「働き方の柔軟性(働く日数・曜日・時間帯の自由度)」が5割、「職場と自宅の距離」が4割、「働く場所(自宅・職場・その他)」が3割以上の回答であった。
- ・働く場所・時間などを自己裁量で決定できる柔軟性を重視する傾向にある。

3. 調査結果⑤

6) 希望する職種（複数回答）

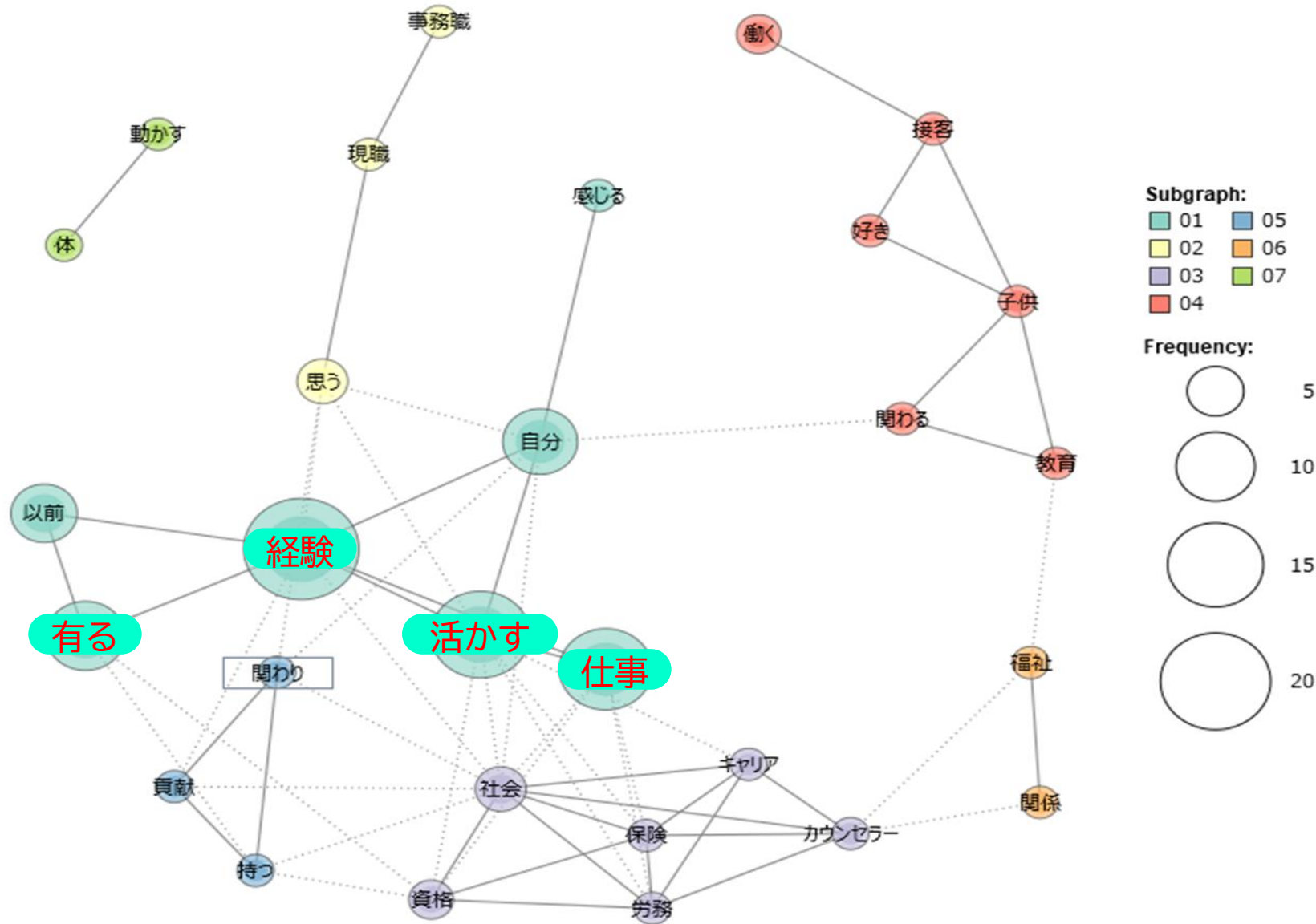
どのような仕事を希望しますか。最大3つまで選択してください。 68件の回答



・希望職種は多岐にわたるものの、事務的職業が3割以上で1位。続いて「保育・教育」、「管理的職業」、「福祉・介護」がそれぞれ2割以上、サービスが2割近くとなっている。

3. 調査結果⑥

7) 希望する職種を選んだ理由（自由記述61人分のテキストマイニング）



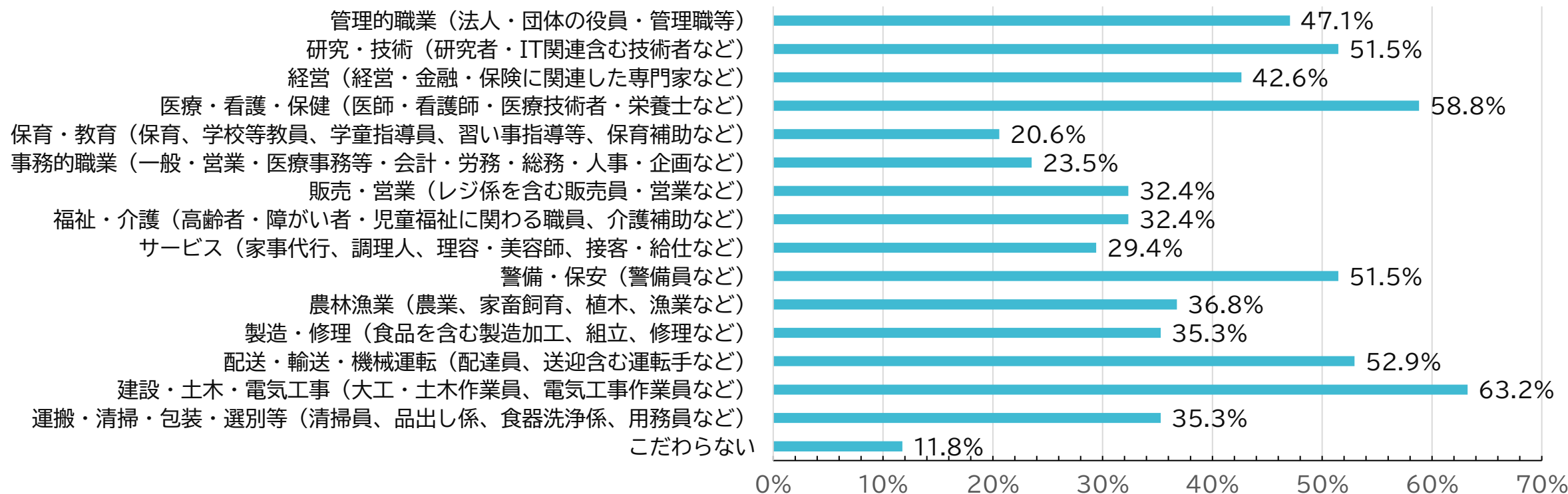
抽出語	回数	抽出語	回数
経験	22	教育	2
活かす	16	現在	2
仕事	14	現職	2
有る	10	好き	2
自分	9	貢献	2
以前	7	子供	2
思う	4	事務職	2
社会	4	持つ	2
資格	3	出来る	2
働く	3	人	2
カウンセラー	2	接客	2
キャリア	2	体	2
回答	2	動かす	2
感じる	2	福祉	2
関わり	2	保険	2
関わる	2	労務	2
関係	2	出現回数2以上	

- ・主なキーワードから「経験」「活かす」「仕事」「有る」が理由として多かった。
- ・回答事例：自分の経験を活かせる仕事がしたいから

3. 調査結果⑦

8)避けたい職種(複数回答)

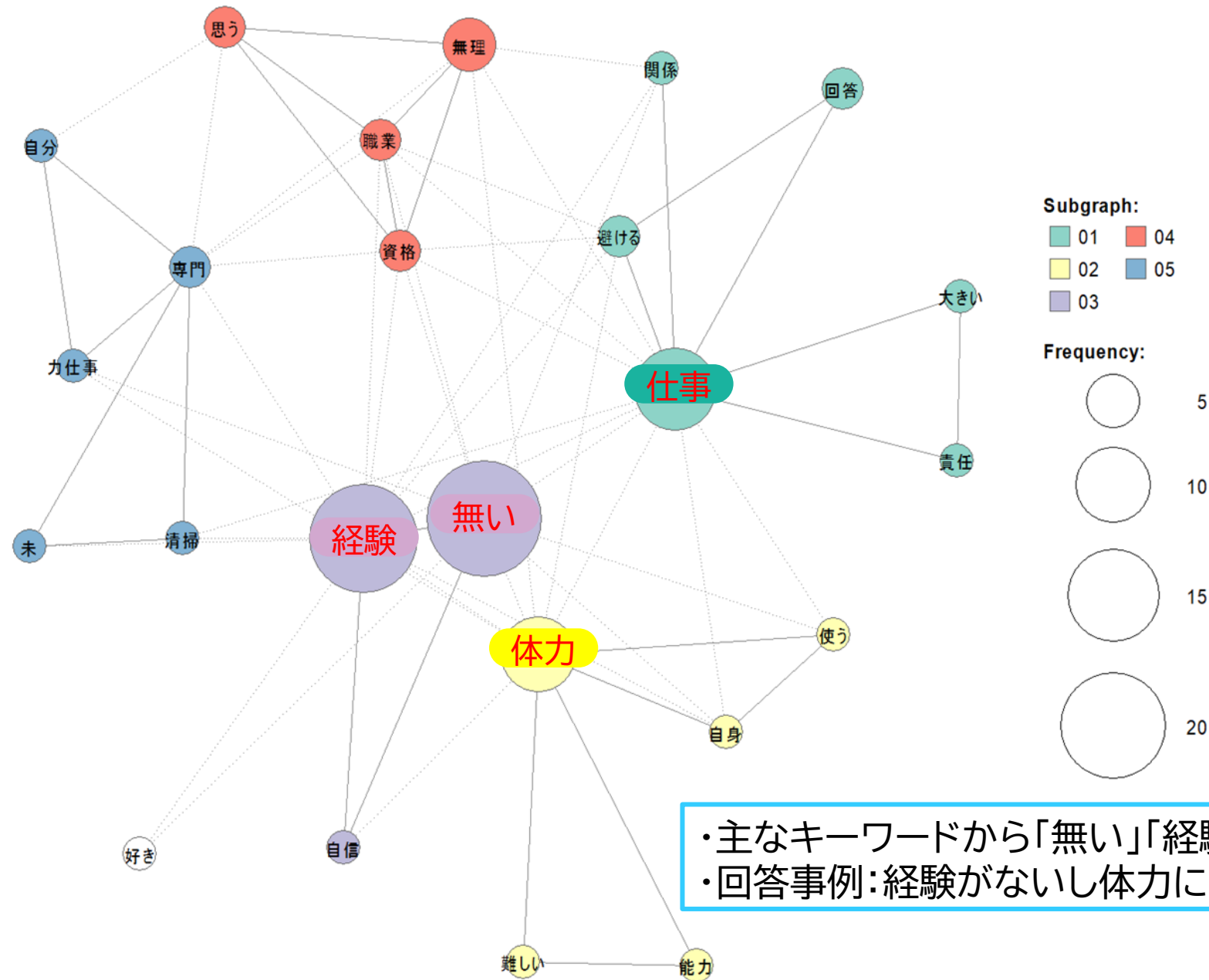
これだけは避けたいと思う仕事をすべて選択してください。 68件の回答



・希望職種に比べ、避けたい職種は回答数が多かった。体力を要するものや経験のない分野を避けることが推測される。

3. 調査結果⑧

9)避けたい職種を選んだ理由（自由記述53人分のテキストマイニング）



抽出語	回数	抽出語	回数
無い	24	好き	2
経験	21	使う	2
仕事	12	自信	2
体力	10	自身	2
無理	5	自分	2
回答	3	清掃	2
思う	3	責任	2
資格	3	大きい	2
職業	3	難しい	2
専門	3	能力	2
避ける	3	未	2
関係	2	出現回数2以上	

・主なキーワードから「無い」「経験」「仕事」「体力」が理由として多かった。
・回答事例：経験がないし体力に自信がないから

4. 調査のまとめ

・おおむね70才以上の仕事を探している人を対象にしたアンケート調査結果は以下の通りである。

①仕事をする理由は、1位が「社会との接点を維持するため」、2位が「生活にうるおいを持たせるため」3位が「健康維持のため」となり、多面的な要素が重なりあっている。

②報酬として必要とする最低額は、1位が「こだわらない」、2位が「1～3万円」、3位が「3万～5万円」となった。

③働きたい日数は、1位が「週1～2日」、2位が「週3～4日」、働く時間は、1位が「1日のうち3～4時間」、2位が「1日のうち5～6時間」となった。

フルタイムでしっかり稼ぎたい人は極めて少数派で、報酬よりも労働条件を重視する傾向にある。

④仕事を決める場合に重視している条件は、1位が「働く日数・曜日・時間帯」、2位が「働き方の柔軟性(働く日数・曜日・時間帯の自由度)」、3位が「働く場所(自宅・職場・その他)」であり、場所・時間などを自己裁量で決定できる柔軟性を重視する傾向にある。

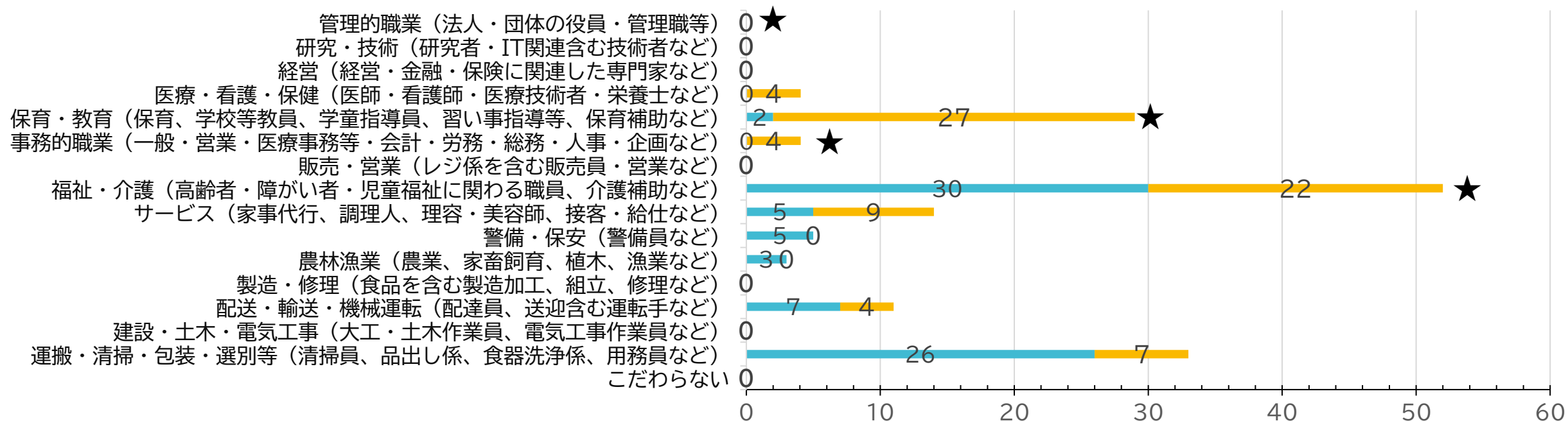
⑤希望職種は、1位が「事務的職業」、2位が「保育・教育」、3位が「管理的職業」、「福祉介護」と多岐にわたる。選んだ理由は、主なキーワードから、「経験」を「活かす」「仕事」であった。避けたい職種は、経験のない分野や体力を要するものを避ける傾向であった。

⑥アンケート結果から、おおむね70才以上で仕事を探している人の働く条件は、職場を自由に選択でき、週1～2日、3～4時間、比較的低賃金でも働きたいと思っている人が多いことがわかる。また、職種を選ぶポイントとして、長年培った経験を活かしたいという思いがある。

仕事をする理由の特徴として、社会との接点を維持することを考えている人が多いことが挙げられる。子どもの独立や定年退職後の生活の変化により、社会との交流が減る傾向にあるため、自ら進んで機会を作ろうとしていると推測できる。

5. 考察

地域しごとサポートセンター神戸の求人データ（2024年4月～9月 求人数155人）
■ 70才以上雇用可能 ■ それ以外



・地域しごとサポートセンター神戸において2024年4月～9月に掲載した求人を職種別に分け、さらに70才以上の雇用が可能な求人とそれ以外に分けたグラフである。

アンケートでは、希望職種の1位が「事務的職業」、2位が「保育・教育」、3位が「管理的職業」、「福祉介護」(グラフ★で表示)であるが、求人データでは、70才以上の雇用が可能な職種は、1位が「福祉・介護」、2位が「運搬・清掃・包装・選別等」、3位が「配送・輸送・機械運転」、4位が「警備・保安」である。

このことから、70才以上の仕事を探している人の希望職種と実際の求人の職種にギャップがあることがわかる。

5. 地域しごとサポートセンター神戸の取り組み

①求人企業に年齢の上限を引き上げる雇用の提案

- ・アンケート調査結果を求人企業に情報提供し、70才以上の人の仕事の価値観や優先したい条件を参考資料として説明。可能であれば、求人の仕事内容や勤務条件に反映されるように提案していく。

②シニアに仕事を考える機会の提供

- ・求職者向けに「おしごと説明会」を実施。
- ・幅広い職種の求人情報提供と個別相談を実施する。求職者が一定の職種や業界にこだわらず、未経験の職種にも視野を広げて選択肢を増やし、適性や価値観に合った仕事を見つけられるよう支援する。
- ・求人企業による具体的な説明により、実際に職場で働くイメージを高める場を提供する。

③シニアのチーム創出による働き方の支援

- ・シニアが数人でチームを結成し、共に協力しながら運営し、共に働くという働き方を支援。
- ・シニアに合った仕事づくり調査から始め、仲間集め、チーム作りを伴走支援し、自走できるようにサポートしていく。
- ・お元気であれば、年齢にこだわらず働くことができ、目標を持って仲間と助け合うことで社会的つながりを保てる。
また、人に役立つ仕事をすることで充実感を得られるメリットがある。

①～③の取り組みを通じて、70歳以上の人が社会のニーズに応えながら、生きがいを持って働ける機会の創出を目指す